

新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した

大会運営ガイドライン

1 大会運営に当たって

- (1) 選手、保護者の意向を尊重して、大会の参加を強制しないこと。
- (2) 日頃の学校や私生活において、常に最大限の感染予防に努めること。
- (3) 大会当日の朝、選手の健康状態を確認できる体制にすること。
- (4) 大会に向けた日頃の練習や練習試合においても当ガイドラインに沿った感染予防対策を徹底すること。
- (5) 選手には免疫力を高めるため、十分な睡眠、バランスの取れた食事を心掛けさせること。
- (6) 新型コロナウイルス感染症に関する確認事項及び、大会運営ガイドラインを遵守し、健康上問題がないことを確認するために、同意書を作成する。

2 三密を避ける取り組み

- (1) 大会会場に入場できる各チームの人数は下記の通りとする。
 - ・選手15名以内
 - ・コーチ1名 マネージャー1名 コミッショナー1名 TO担当者2名以内
 - ・観戦者15名以内 ※観戦はベンチの後ろとなります
(他チームとの接触を避けるため、試合後は速やかな入れ替えにご協力ください)
 - ・大会に参加する選手及びチーム関係者のリストを提出すること
 - ・入場者はネームタグ（チーム名表記可）を着用すること
- (2) 試合終了後、ベンチ等の消毒が終了してから、次の試合の選手及びチーム関係者がベンチ入りすること
- (3) 観戦者は会場内においてマスク着用を義務付ける

3 検温及び健康観察について

- (1) 当日の朝、各チームにて選手の当日の体温を把握すること
 - ・各チームによるチェック表を持参し本部に提出する→ミニ連役員が確認後返却
 - ※当日の体温が37.5℃以上ある場合は大会への参加は認めない
 - また、下記の症状が認められる場合の参加も認めない
 - ・咳や鼻水などの風邪症状
 - ・強いだるさや頭痛
 - ・息苦しさ
 - ※熱や風邪症状がある選手やチーム関係者の大会参加は認めない。
- (2) 大会会場入りの後に発熱の症状等の体調不良になった選手は帰宅させる。
- (3) 大会終了後、帰宅後も検温及び健康観察を行い記録しておくこと。

4 手洗いうがい・消毒について

- (1) 大会参加者はこまめに手洗い・うがい・消毒を行う。
- (2) 消毒液等は各チームで準備する。

- (3) 手洗い後の手をふくタオルは共用しないこと。

5 マスク等について

- (1) 基本的にマスク等を会場入りから帰宅まで全員、着用することとする。
- (2) 試合前の練習時はマスク等を外す。
- (3) 試合中、マスク等は外す。
- (4) ベンチ入りするチーム関係者はマスク等を着用する。
- (5) 外したマスク等は清潔に保つようにする。
- (6) マスク着用時も水分補給をこまめに行う。

6 試合中の注意事項

- (1) 試合前の声出しはおこなわない。
- (2) 試合前及び試合終了後の握手はおこなわない。
- (3) 試合中、必要以上に顔や髪などをさわらないようにする。
- (4) 試合中、ハイタッチはしない。
- (5) ベンチのメンバーはソーシャルディスタンスを意識して座る。
- (6) タオルの共用はしない。
- (7) 大きな声を出しての指示やアピール等を行わない。

7 その他

- (1) 適宜換気を行う。
- (2) 控え場所での待機時やミーティングの際には三密にならないように行う。
- (3) 水筒を必ず持参する。(自分の水筒以外では水分補充をしない)
- (4) 大会期間中に気分が悪くなる選手は保護者へ連絡し帰宅させる。
(保護者が迎えに来るまでの控え場所は他の児童と距離を置くこと)
- (5) 大会終了後、会場・用具の消毒を行う。
- (6) 接待はなしとする。
- (7) 勝ち残っているチームが不参加となる場合、そのチームは不戦敗とする。
- (8) 今後(大会期間中も含む)、県及び地区全体に感染が広がる場合は、大会を中止とする。